

目次（令和5年度実施計画書）

【施策の大綱3】豊かな自然と歴史文化を守り継承します

ページ	大綱	分野	事業名	担当課
91	3	8-1	合併処理浄化槽設置整備事業	住民生活課
92	3	9-1	不法投棄対策事業	住民生活課
93	3	9-1	家庭ごみ収集運搬委託事業	住民生活課
94	3	9-1	指定ごみ袋（有料化）による減量化事業	住民生活課
95	3	9-1	ごみ処理施設広域化事業	住民生活課
96	3	10-1	歴史的資料整理公開活用事業	まちづくり推進課
97	3	10-1	中城城跡整備事業	生涯学習課
98	3	10-1	中城ハンタ道整備事業	生涯学習課
99	3	10-1	村内遺跡調査事業	生涯学習課
100	3	10-1	史跡保存活用計画作成事業	生涯学習課
101	3	10-1	文化財整備事業	生涯学習課
102	3	10-2	地域多世代交流事業	生涯学習課
103	3	10-2	文化団体育成支援事業	生涯学習課
104	3	10-3	中城文化まつり事業	生涯学習課

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	合併処理浄化槽設置整備事業				
-----	---------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	6,008	千円	令和5年度 事業費	6,008	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和5～7年度)	18,024	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課		
生活雑排水による河川等公共水域の水質汚濁防止を目的として、合併処理浄化槽の新設及び単独浄化槽等からの切換に対する補助金制度。公共下水道整備計画区域外及び下水道整備計画区域内であっても7年以内に下水道接続が見込まれない地域における合併浄化槽新設に対して補助金を交付する。			施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						住民生活課	
			基本施策	⑧中城の美しい自然環境を保全します						担当係	生活環境係
			分野	8-1 自然環境の保全						担当名	宮城正也
			その他関係施策							内線番号	137
			事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
水環境の保全を目的として、合併処理浄化槽設置に係る費用負担の軽減を図る。課題として、合併処理浄化槽設置後の適正管理（清掃・点検の義務）の必要性を周知する必要がある。					合併浄化槽の普及により、河川や海水域、用排水路等の汚染を防止し、環境負荷を軽減することで生活環境の保全及び循環型社会形成が推進される。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基 7人槽:414,000円×2基 10人槽:548,000円×4基	合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基 7人槽:414,000円×2基 10人槽:548,000円×4基	合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基 7人槽:414,000円×2基 10人槽:548,000円×4基
合計	6,008		合計	6,008		合計	6,008	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	地方創生整備推進交付金	2,000	千円 33.3%	国庫補助金名	地方創生整備推進交付金	2,000	千円 33.3%	国庫補助金名	地方創生整備推進交付金	2,000	千円 33.3%
県補助金名			千円	県補助金名			千円	県補助金名			千円
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		4,008	千円 66.7%	一般財源		4,008	千円 66.7%	一般財源		4,008	千円 66.7%

令和5年度目標 (KPI等)	合併処理浄化槽の普及 5人槽:9基、7人槽:2基、10人槽:4基	令和5年度 との相違点	引き続き合併浄化槽の普及および設置後の適正管理の周知を図る。	令和6年度 との相違点	引き続き合併浄化槽の普及および設置後の適正管理の周知を図る。
今後の展開	単独浄化槽からの切換を重点に周知を図る。	目標	5人槽:9基、7人槽:2基、10人槽:4基	目標	5人槽:9基、7人槽:2基、10人槽:4基

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	不法投棄対策事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	8,845	千円	令和5年度 事業費	5,968	千円	対前年度 増減額	▲ 2,877	千円	総事業費 (令和5～7年度)	17,904	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	---------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要 不法投棄監視パトロールや監視カメラ・看板設置を実施し、不法時未然防止対策を実施する。不法投棄の早期発見・対応を迅速かつ適正処理を実施し、景観及び生活環境の保全を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										住民生活課	
	基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します										担当係	生活環境係
	分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進										担当名	宮城正也
	その他関係施策											内線番号	137
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無				

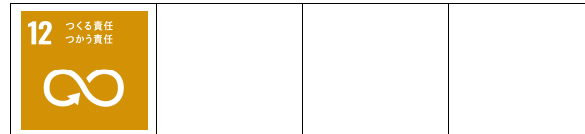
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
不法投棄は、廃棄物の不適正処理による環境汚染、景観の悪化を招き、土地の適正利用の妨げとなるなど生活環境への悪影響が大きい。村内においては、大規模な産業廃棄物の不法投棄は減少傾向にあるが、村外から持ち込まれたと思われる家庭系ごみ、家電の不法投棄があとをたない。	不法投棄の監視及び広報等による「不法投棄は犯罪である。」意識啓発とともに、不法投棄の早期発見・収集・適正処理を行うことで生活環境及び景観の保全を図る。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
人件費	4,863	会計任用職員2人	人件費	4,863	会計任用職員2人	人件費	4,863	会計任用職員2人
消耗品費	50	看板等	消耗品費	50	看板等	消耗品費	50	看板等
燃料費	120	軽トラ燃料	燃料費	120	軽トラ燃料	燃料費	120	軽トラ燃料
修繕費	75	軽トラ修繕	修繕費	75	軽トラ修繕	修繕費	75	軽トラ修繕
手数料	660		手数料	660		手数料	660	
重機借上料	200		重機借上料	200		重機借上料	200	
合計	5,968		合計	5,968		合計	5,968	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()	不法投棄未然防止事業協力金	761	千円 12.8%	その他()	不法投棄未然防止事業協力金	761	千円 12.8%	その他()	不法投棄未然防止事業協力金	761	千円 12.8%
一般財源		5,207	千円 87.2%	一般財源		5,207	千円 87.2%	一般財源		5,207	千円 87.2%

令和5年度目標 (KPI等)	不法投棄パトロールの強化。通報後の即時対応(警告看板設置等)、早期回収、監視の強化(監視カメラの増設)	令和5年度との相違点	既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。	令和6年度との相違点	既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。
今後の展開	監視カメラの増設、警察と連携して抑止力の強化を図る。	目標	監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロールを実施し、不法投棄の防止を図る。	目標	監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロールを実施し、不法投棄の防止を図る。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	家庭ごみ収集運搬委託事業									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	45,316	千円	令和5年度 事業費	46,567	千円	対前年度 増減額	1,251	千円	総事業費 (令和5～7年度)	139,701	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	--------	----	-------------	-------	----	-------------------	---------	----	------	------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課		
家庭ごみの戸別収集及び運搬 ・塵芥収集：可燃・不燃・危険ごみ 2業者 ・資源ごみ：ビン・カン・古紙・古布・ペットボトル 1業者 ごみの有料化（指定ごみ袋）による戸別収集を行い、ごみの分別等排出責任を涵養し、減量化・再資源化・適正処理を推進する。			施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						住民生活課	
			基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します						担当係	生活環境係
			分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進						担当名	宮城正也
			その他関係施策							内線番号	137
			事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料

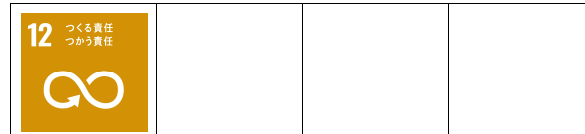
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2（市町村の処理等） 家庭ごみを戸別収集・運搬し、ごみ処理施設において適正処理を行い生活環境の保全を図る。人口増加等により収集件数が収集量が著しく増加しており曜日によって収集作業の負担が大きく効率的でない状況があるため、収集区域・体制などを見直す。	戸別収集の実施により、ごみ分別に対する排出責任意識を高め、適正処理により生活環境の保全及び再資源化の推進が図られる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2業者	塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2業者	塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2業者
粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1業者	粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1業者	粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1業者
資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1業者	資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1業者	資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1業者
合計	46,567		合計	46,567		合計	46,567	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
国庫補助金名				国庫補助金名				国庫補助金名			
県補助金名				県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		46,567	千円 100.0%	一般財源		46,567	千円 100.0%	一般財源		46,567	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	ごみの分別を徹底し、ごみの排出責任意識を高め1人あたりの排出量の抑制及び再資源化を推進する。	令和5年度との相違点	ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。	令和6年度との相違点	ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。
今後の展開	収集体制、再資源化収集等の見直し等を検討する。	目標	1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。	目標	1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 指定ごみ袋（有料化）による減量化事業									
------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	16,106 千円	令和5年度 事業費	14,858 千円	対前年度 増減額	▲ 1,248 千円	総事業費 (令和5～7年度)	44,574 千円	事業区分	継続事業
--------------	-----------	--------------	-----------	-------------	------------	-------------------	-----------	------	------

事業概要 指定ごみ袋による、ごみの有料化によりごみの排出量の抑制による減量化や、ごみや環境に対する住民の意識改革を図る。	第五次総合計画での位置付け							担当課	
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します					住民生活課		
	基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します					担当係	生活環境係	
	分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進					担当名	宮城正也	
	その他関係施策						内線番号	137	
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有

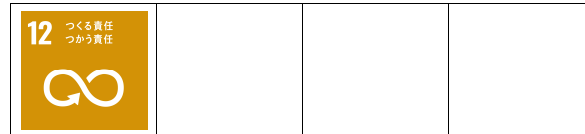
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
家庭から排出されるごみについて、有料化を実施することにより、分別の徹底による再資源化及びごみの減量化を図り、社会情勢の変化及び近隣市町村の動向に応じて一般廃棄物処理手数料の見直しを実施する。併せて懸念される不法投棄防止対策についても実施していく。	種類別指定ごみ袋による有料収集を行い、家庭ごみ分別の徹底による住民1人あたりの、ごみ排出量の減量化・再資源化・適正処理が期待される。 R2家庭ごみ（資源ごみ除く）4,428,210kg/21,947人=201.77kg/人 R3家庭ごみ（資源ごみ除く）4,439,470kg/22,076人=201.10kg/人

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
指定ごみ袋購入費	10,101	指定ごみ袋印刷製造	指定ごみ袋購入費	10,101	指定ごみ袋印刷製造	指定ごみ袋購入費	10,101	指定ごみ袋印刷製造
販売処理事務手数料	4,757	販売処理事務委託料	販売処理事務手数料	4,757	販売処理事務委託料	販売処理事務手数料	4,757	販売処理事務委託料
合計	14,858		合計	14,858		合計	14,858	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		14,858 千円	100.0%	一般財源		14,858 千円	100.0%	一般財源		14,858 千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	浦添市・中城村・北中城村地域計画（新ごみ処理施設）に基づき、1人あたり排出量を前年比-0.6%で推移する。 ごみ排出量/人 前年比：-0.6%	令和5年度との相違点	1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。	令和6年度との相違点	1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。
今後の展開	ごみの分別徹底、減量化、再資源化に対する意識の高揚を図る。	目標	ごみ処理広域化、新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。	目標	ごみ処理広域化、新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	ごみ処理施設広域化事業				
-----	-------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	5,515	千円	令和5年度 事業費	6,295	千円	対前年度 増減額	780	千円	総事業費 (令和5～7年度)	18,885	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	-----	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要 浦添市・中城村・北中城村の1市2村で新一般廃棄物処理施設を共同で整備し、事務の委託によりごみ処理の広域化を図る。	第五次総合計画での位置付け								担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します								住民生活課	
	基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します								担当係	生活環境係
	分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進								担当名	宮城正也
	その他関係施策									内線番号	137
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	無		

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城村・北中城村ともに一般廃棄物の排出量は増加しており、現在の施設（青葉苑）では処理能力超過が見込まれる。新しい施設建替の用地確保が困難であるため、1市2村で浦添市に新ごみ処理施設を共同建設し事務の委託において広域処理を行う。	建替えが困難である現施設（青葉苑）にかわる次期処理施設が確保され、住民及び企業活動の進展に伴い増加する一般廃棄物の適正処理が可能となる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金	6,295	新一般廃棄物処理施設	負担金	6,295	新一般廃棄物処理施設	負担金	6,295	新一般廃棄物処理施設
合計	6,295		合計	6,295		合計	6,295	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		6,295	千円 100.0%	一般財源		6,295	千円 100.0%	一般財源		6,295	千円 100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	R5 の委託 メント 審査)	事務 環境アセス 発注業務(公募・	令和5年度 との相違点	R6 委託 募・審査)	事務の 発注業務(公	令和6年度 との相違点	R7 計等	実施設
今後の展開	R11	一般廃棄物処理施設稼働	目標		新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。	目標		新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	歴史的資料整理公開活用事業									
-----	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	11,441	千円	令和5年度 事業費	28,505	千円	対前年度 増減額	17,064	千円	総事業費 (令和5～7年度)	52,315	千円	事業区分	継続事業（公約）
--------------	--------	----	--------------	--------	----	-------------	--------	----	-------------------	--------	----	------	----------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
NPO法人琉米歴史研究会が、中城村に寄贈した沖縄に関する膨大な量の写真等各種資料(1944～1960年代に米軍関係者が撮影)の整理、情報収集を行い公開活用を図っていく。			施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						まちづくり推進課			
			基本施策	⑩文化財を保存・継承します						担当係	まちづくり係		
			分野	10-1 歴史環境の保存・活用						担当名	田川		
			その他関係施策							内線番号	227		
事業期間			令和	5	年	～	令和	8	年	積算資料	有		

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
琉米歴史研究会から寄贈された膨大な量の資料は、現在ではほとんど失われてしまった戦前から戦後間もない頃の沖縄各地の風景や人々の生活を知ることのできる貴重な資料である。これら資料は、ほとんど整理されておらず公開できる状況にない。フィルム等の劣化も進行しつつあることからデジタル化も実施する必要がある。これら貴重な資料の公開、活用を図っていくためにも当該事業を実施する必要がある。						<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用した展示会を護佐丸歴史資料図書館で開催する事で、戦前～1960年代までの沖縄の歴史を多くの人に知ってもらうことができ、護佐丸歴史資料図書館の活用にもつながる。 他市町村と連携した企画展を開催したり、学校教育等に活用できる。 					

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	9,075	調査員4人	報酬	9,075	調査員4人	報酬	9,075	調査員4人
期末手当	1,853	調査員4人	期末手当	1,853	調査員4人	期末手当	1,853	調査員4人
報償費	330	資料整理協力	報償費	330	資料整理協力	報償費	330	資料整理協力
旅費	350	調査員交通費	旅費	350	調査員交通費	旅費	350	調査員交通費
需用費	100	消耗品・印刷費	需用費	249	消耗品・印刷費	需用費	249	消耗品・印刷費
委託料	16,715	資料デジタル化	役務費	48	切手代・複写代	役務費	48	切手代・複写代
借上料	82	駐車場代・編集ソフト						
合計	28,505		合計	11,905		合計	11,905	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	22,804	80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	9,524	80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	9,524	80.0%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		5,701	20.0%	一般財源		2,381	20.0%	一般財源		2,381	20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	・各種資料の情報収集	令和5年度との相違点	令和5年度と同様の作業を行うが、資料の情報収集を行うため、展示会は北部の市町村で実施する。	令和6年度との相違点	令和5年度と同様の作業を行うが、資料の情報収集を行うため、展示会は南部の市町村で実施する。
今後の展開	R5～7資料の情報収集、R8資料管理公開システム構築	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料の情報収集 北部地区での展示会の開催 	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料の情報収集 南部地区での展示会の開催

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名		中城城跡整備事業											
令和4年度 事業費	56,254	千円	令和5年度 事業費	46,128	千円	対前年度 増減額	▲ 10,126	千円	総事業費 (令和5～7年度)	126,328	千円	事業区分	継続事業（公約）

事業概要 中城城跡の保存・活用を図るため、発掘調査を始めとした各種調査や修復工事などの整備事業を実施する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	文化係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	新城
	その他関係施策											内線番号	322
事業期間	令和	5	年	～	令和	11	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城城跡は築城から600年余り経過しており、城内各所に危険個所が生じている。そのためこれらの修復を行い、発掘調査により歴史や構造を解明して史跡の保存・活用を図っていく必要がある。年々文化庁の補助額が減少しており、事業計画が遅延してきている。また、史跡の正しい価値を観覧者に理解してもらい、より集客を図るため近隣に博物館を建設する必要がある。					城壁等の修復を行うことで史跡を恒久的に保存する事ができ、危険個所が減ることで観光客の観覧範囲も広がる。また、これまでの発掘調査により築城技術やグスクの歴史、海外との交易状況も徐々に解明されつつある。その成果をグスク博物館ができるまでの間、護佐丸歴史資料図書館で公開して、中城城跡に関する情報発信を行うことで、さらなる集客を図ることができる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	10,420	資料整理4・発掘作業5、整備委員	報酬	8,979	資料整理4・発掘作業5、整備委員	報酬	8,979	資料整理4・発掘作業5、整備委員
期末手当	1,853	資料整理4	期末手当	1,924	資料整理4	期末手当	1,924	資料整理4
報償費	36	専門家鑑定謝礼	報償費	36	専門家鑑定謝礼	報償費	36	専門家鑑定謝礼
旅費	954	県外旅費・交通費	旅費	660	県外旅費・交通費	旅費	660	県外旅費・交通費
需用費	321	消耗品・燃料	需用費	368	消耗品・燃料	需用費	368	消耗品・燃料
委託料	8,622	設計監理・測量等	委託料	4,304	設計監理・測量等	委託料	4,304	設計監理・測量等
借上料	782	車両等	借上料	1,279	車両・実測機等	借上料	1,279	車両・実測機等
工事請負費	23,140	修復工事	工事請負費	22,550	修復工事	工事請負費	22,550	修復工事
合計	46,128		合計	40,100		合計	40,100	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	36,800	千円 79.8%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	32,000	千円 79.8%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	32,000	千円 79.8%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	1,090	千円 2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	800	千円 2.0%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	800	千円 2.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		8,238	千円 17.9%	一般財源		7,300	千円 18.2%	一般財源		7,300	千円 18.2%

令和5年度目標 (KPI等)	平成28年度以降、年次計画にしたがって進めてきた一の郭北西隅城壁の修復(積み直し)を行う。	令和5年度との相違点	一の郭北側城壁(西側半分)の修復(積み直し)を行う。	令和6年度との相違点	一の郭北側城壁中央付近の整備 一の郭内の整備
今後の展開	令和7年度に一の郭の整備を完了し、令和8年度からは西の郭東側の整備を開始する。	目標	一の郭北側城壁(西側半分)の修復(積み直し)を行う。	目標	一の郭北側城壁中央部の積み直し 一の郭への文化財説明版の設置 一の郭内の不陸整備

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城ハンタ道整備事業				
-----	------------	--	--	--	--

令和4年度 事業費	29,974 千円	令和5年度 事業費	20,569 千円	対前年度 増減額	▲ 9,405 千円	総事業費 (令和5～7年度)	61,619 千円	事業区分	継続事業
--------------	-----------	--------------	-----------	-------------	------------	-------------------	-----------	------	------

事業概要 歴史の道「中城ハンタ道」の未整備区間約250mの整備を行う。	第五次総合計画での位置付け						担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します					生涯学習課		
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します					担当係	文化係	
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用					担当名	新城	
	その他関係施策						内線番号	322	
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
中城ハンタ道は、県営公園内のホテル廃墟の建っていた区間以外の整備が完了している。令和元年度に廃墟が撤去されたことにより、未整備区間の整備が可能となったことから、残りの区間を整備して道を全線開通させて活用を図っていく必要がある。未整備区間は路面の遺構が残っていないため、その整備方法について整備員会で慎重に検討していかねばならない。	<ul style="list-style-type: none"> 中城ハンタ道を全線開通させることにより、道のさらなる活用を図ることができる。 観光協会と連携して、中城城跡や県営公園と包括的活用を図ることで本村の観光振興に資することができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	3,031	資料整理1・発掘作業5、整備委員	報酬	2,781	資料整理1・発掘作業5、整備委員	報酬	2,270	資料整理1、整備委員
期末手当	464	資料整理1・発掘作業5	期末手当	481	資料整理1・発掘作業5	期末手当	481	資料整理1・発掘作業5
旅費	235	交通費	旅費	142	交通費	旅費	85	交通費
需用費	181	消耗品	需用費	246	消耗品	需用費	1,674	消耗品・印刷製本
委託料	3,443	設計監理・測量等	委託料	3,520	設計監理・測量等	委託料	990	監理
使用料及び賃借	5	駐車料	工事請負費	22,880	修復工事	工事請負費	5,500	サイン設置工事
工事請負費	13,210	修復工事						
合計	20,569		合計	30,050		合計	11,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	16,400 千円	79.7%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	24,000 千円	79.9%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	8,800 千円	80.0%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	485 千円	2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	600 千円	2.0%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	220 千円	2.0%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		3,684 千円	17.9%	一般財源		5,450 千円	18.1%	一般財源		1,980 千円	18.0%

令和5年度目標 (KPI等)	整備予定区間の中央部約60mの整備	令和5年度との相違点	整備予定区間の東側約100mの整備	令和6年度との相違点	サインの設置、整備報告書の作成
今後の展開	R4～6年度：整備工事 R7年度：整備報告書の発刊	目標	未整備区間の東側約100mの整備	目標	<ul style="list-style-type: none"> サインの設置 整備報告書の発刊

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	村内遺跡調査事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	5,870	千円	令和5年度 事業費	5,003	千円	対前年度 増減額	▲ 867	千円	総事業費 (令和5～7年度)	15,003	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	-------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要 村内各所に点在する埋蔵文化財包蔵地(遺跡)における開発行為に対し、開発者と埋蔵文化財の取り扱いについて調整を行うため、事前に遺跡の範囲を確認する試掘調査を実施する。	第五次総合計画での位置付け								担当課	
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						生涯学習課		
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します						担当係	文化係	
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用						担当名	新城	
	その他関係施策							内線番号	322	
事業期間	令和	5	年	～	令和	9	年	積算資料		

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
開発予定地に埋蔵文化財(遺跡等)がある場合は、事前に事業者と埋蔵文化財の取り扱いに関し、開発計画を変更して保存するのか、開発計画を進めるため事前に原因者負担による発掘調査を行うかについて調整を行わねばならない。そのためには、事前に遺跡の範囲、深さ、年代などについて把握しておく必要があるため試掘調査を実施する。	試掘調査を行い開発予定地内での埋蔵文化財の状況を把握することで、その取り扱いについて、事業者と調整を円滑に進めることができる。開発の途中で重要な埋蔵文化財が発見されて工事を中断するというようなことも防ぐことができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	3,266	資料整理1・発掘作業5	報酬・期末手当	3,242	資料整理1・発掘作業5	報酬・期末手当	3,242	資料整理1・発掘作業5
期末手当	464	資料整理1・発掘作業6	旅費	481	交通費	旅費	481	交通費
旅費	108	交通費	需用費	107	消耗品・燃料	需用費	107	消耗品・燃料
需用費	918	消耗品・燃料	委託料	923	測量等	委託料	923	測量等
借上料	247	車輛・調査用機材等	借上料	247	車輛・調査用機材等	借上料	247	車輛・調査用機材等
合計	5,003		合計	5,000		合計	5,000	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	4,000	千円 80.0%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	4,000	千円 80.0%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	4,000	千円 80.0%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	175	千円 3.5%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	175	千円 3.5%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	175	千円 3.5%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		828	千円 16.6%	一般財源		825	千円 16.5%	一般財源		825	千円 16.5%

令和5年度目標 (KPI等)	県道146号から中城城跡付近まで続く伊舎堂ビラ(石畳道)の中央部の調査を実施する。	令和5年度との相違点	伊舎堂ビラ(石畳道)の北側の調査を実施する。	令和6年度との相違点	県公園内の古墓の調査を実施する。
今後の展開	県営公園内の調査を中心に進め、他地区における開発場所の試掘にも対応する。	目標	伊舎堂ビラ(石畳道)の北側の調査。	目標	・ 古墓20基程度の調査 ・ 発掘調査報告書300冊の発刊

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 史跡保存活用計画作成事業									
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	4,513	千円	令和5年度 事業費	4,810	千円	対前年度 増減額	297	千円	総事業費 (令和5～7年度)	12,760	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	-------	----	-------------	-----	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要 国指定史跡の中城城跡と中城ハンタ道の保存活用計画を作成する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	文化係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	新城
	その他関係施策											内線番号	322
事業期間	令和	5	年	～	令和	7	年	積算資料					

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
「保存活用計画」は、国指定史跡の適切な保存と活用を図るために必要なものである。同計画は10～15年ごとに改正していくべきとされているが、中城城跡は1982年に「保存管理計画」が策定され40年以上も経過し、一度も改正されておらず、史跡周辺の状況もかなり変化していることから、改めて策定を行う。その後、計画未策定の中城ハンタ道の計画を作成する。	中城城跡と中城ハンタ道の適切な保存・活用を図ることができる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報償費	160	計画策定委員謝礼5人	報償費	200	計画策定委員謝礼	報償費	200	計画策定委員謝礼
旅費	194	県外委員・文化庁招聘旅費	旅費	553	県外委員招聘旅費	旅費	553	県外委員招聘旅費
需用費	56	消耗品	需用費	47	消耗品	需用費	17	消耗品
委託料	4,400	計画策定委託	委託料	2,750	計画策定委託	委託料	3,630	計画策定委託
合計	4,810		合計	3,550		合計	4,400	

財源内訳				財源内訳				財源内訳						
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	3,840	千円	79.8%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	2,840	千円	80.0%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	3,520	千円	80.0%
県補助金名			千円		県補助金名			千円		県補助金名			千円	
地方債			千円		地方債			千円		地方債			千円	
その他()			千円		その他()			千円		その他()			千円	
一般財源		970	千円	20.2%	一般財源		710	千円	20.0%	一般財源		880	千円	20.0%

令和5年度目標 (KPI等)	中城城跡の保存活用計画の策定 ※保存活用計画書の発刊	令和5年度 との相違点	中城ハンタ道の条件の調査	令和6年度 との相違点	中城ハンタ道の保存活用計画の策定
今後の展開	令和6・7年度に中城ハンタ道の保存活用計画を作成する。	目標	中城ハンタ道の関係法令の調査、現況確認と保存・活用上の課題の抽出を行う。	目標	中城ハンタ道の保存活用計画書の発刊。

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 文化財整備事業													
令和4年度 事業費	9,466	千円	令和5年度 事業費	7,980	千円	対前年度 増減額	▲ 1,486	千円	総事業費 (令和5～7年度)	7,980	千円	事業区分	継続事業

事業概要 令和3年8月2日に新たに村文化財に指定された伊舎堂のマーチューグワー内の劣化している建造物を修復する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	文化係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	新城
	その他関係施策											内線番号	322
事業期間	令和	5	年	～	令和		年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
伊舎堂のマーチューグワー内の建造物は、長い年月が経ち劣化しており、このままでは倒壊の恐れがあるため、文化財修復工場の必要がある。修復工事後は、地域学習等の活用を図っていく。					<ul style="list-style-type: none"> ・新指定文化財の活用を図ることができる。 ・県道開削記念碑の保存、活用を図ることができる。 				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	500	施工監理						
工事請負費	7,480	整備工事						
合計	7,980		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	6,384	千円	80.0%	国庫補助金名		千円	国庫補助金名		千円	
県補助金名			千円		県補助金名		千円	県補助金名		千円	
地方債			千円		地方債		千円	地方債		千円	
その他()			千円		その他()		千円	その他()		千円	
一般財源		1,596	千円	20.0%	一般財源		千円	一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	伊舎堂のマーチューグワーの整備工事の実施	令和5年度との相違点		令和6年度との相違点	
今後の展開	小学校の地域散策や、文化財巡り等で活用する。	目標		目標	

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 地域多世代交流事業									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	3,500 千円	令和5年度 事業費	3,500 千円	対前年度 増減額	0 千円	総事業費 (令和5～7年度)	3,500 千円	事業区分	継続事業
--------------	----------	--------------	----------	-------------	------	-------------------	----------	------	------

事業概要 南上原組踊保存会が新たに作成した新演目の公演を行うための補助金を交付する。	第五次総合計画での位置付け						担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します				生涯学習課			
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します				担当係	文化係		
	分野	10-2 伝統文化・民俗芸能の継承				担当名	新城		
	その他関係施策					内線番号	322		
事業期間	令和	5	年	～	令和	5	年	積算資料	有

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
南上原組踊保存会の「糸蒲の縁」は、これまでに国立組踊劇場や県立博物館・美術館での上演を行い、令和元年度には日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産2019」に登録されるなど活動が盛んで、地域の活力ともなっている。この活動の幅を広げ、組踊を継承して行く子どもたちの新規加入を促すためにも新演目の追加が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演目が増えることで発表の機会も増え、演じる子どもたちのモチベーションと演技力が向上し、人材育成、後継者育成にもつながる。 ・ 保存会の子供たちを支える親や地域の人々の活力にもなる。

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	3,500	南上原組踊保存会						
合計	3,500		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	2,800 千円	80.0%	国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		700 千円	20.0%	一般財源		千円		一般財源		千円	

令和5年度目標 (KPI等)	新演目の上演	令和5年度との相違点		令和6年度との相違点	
今後の展開	自主上演や、文化まつりでの上演を行う。	目標		目標	

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名 文化団体育成支援事業									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	952 千円	令和5年度 事業費	752 千円	対前年度 増減額	▲ 200 千円	総事業費 (令和5～7年度)	2,256 千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	--------------	--------	-------------	----------	-------------------	----------	------	------

事業概要		第五次総合計画での位置付け					担当課		
中城村の文化振興、村民への文化活動の推奨と、身近に文化事業を感じてもらえる環境の構築を担っている村の文化的補助金交付団体（文化協会、中城ジュニアオーケストラ）に対し、補助金を交付して育成の支援を行う。		施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します			生涯学習課			
		基本施策	⑩文化財を保存・継承します			担当係	文化係		
		分野	10-2 伝統文化・民俗芸能の継承			担当名	新城		
		その他関係施策				内線番号	322		
事業期間		令和	5	年	～	令和	年	積算資料	無

事業を実施する必要性と現状の課題		事業実施効果	
<p>育成団体の自主活動の活性化のため補助金の交付などの支援が必要である。しかし、中城村伝統組踊「護佐丸」保存会は活動がほぼ休止状態にある。同会の活動に関しては、幾度も活性化を試みたが困難な状況で、今度の活動再開に向け検討を行う必要がある。</p>		<p>本村の文化活動が充実して行くことにより、村民への文化活動の推奨を図ることで村民の生活向上にもつながり、地域の文化振興の発展に資することになる。</p>	

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	652	文化協会	補助金	652	文化協会	補助金	652	文化協会
補助金	100	中城ジュニアオーケストラ	補助金	100	中城ジュニアオーケストラ	補助金	100	中城ジュニアオーケストラ
合計	752		合計	752		合計	752	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		752 千円	100.0%	一般財源		752 千円	100.0%	一般財源		752 千円	100.0%

令和5年度目標 (KPI等)	各団体の活動活性化と会員の増加	令和5年度との相違点	令和5年度と同じ	令和6年度との相違点	文化まつりへの出演
今後の展開	自主公演や文化まつり等への出演	目標	公演会等の実施	目標	・公演会等の実施 ・文化まつりへの出

実施計画書（令和5年度～令和7年度）



事業名	中城文化まつり事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和4年度 事業費	0	千円	令和5年度 事業費	3,000	千円	対前年度 増減額	3,000	千円	総事業費 (令和5～7年度)	3,000	千円	事業区分	新規事業（通常）
--------------	---	----	--------------	-------	----	-------------	-------	----	-------------------	-------	----	------	----------

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
令和5年度に中城まつり実行委員会に補助金を交付して第11回中城文化まつりを開催する。新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、吉の浦会館で舞台部門、護佐丸歴史資料図書館で展示部門の発表を行う予定である。			施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						生涯学習課			
			基本施策	⑩文化財を保存・継承します						担当係	文化係		
			分野	10-3 住民意識の高揚及び周知啓発						担当名	新城		
			その他関係施策							内線番号	322		
事業期間			令和	5	年	～	令和	5	年	積算資料	無		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
各種文化団体は普段から各自で自己鍛錬や団体活動に励んでいるが、その成果を発表する場が少ないことから、発表の機会を設けるとともに、各種団体の交流の場とすることで相互理解を深め活動の活性化を図るため「中城文化まつり」を開催する必要がある。					各種団体が普段から積み重ねてきた技を発表する機会を設ける事で、文化の継承と創造発展に寄与し、村民の文化の向上を図ることができる。				

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	3,000	文化まつり実行委員会						
合計	3,000		合計	0		合計	0	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	沖縄振興特別推進交付金	2,400	千円	80.0%	国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円
県補助金名			千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円
地方債			千円		地方債		千円		地方債		千円
その他()			千円		その他()		千円		その他()		千円
一般財源		600	千円	20.0%	一般財源		千円		一般財源		千円

令和5年度目標 (KPI等)	入場者数3,000人	令和5年度 との相違点		令和6年度 との相違点	
今後の展開	令和6年度以降、文化祭は文化協会主体で開催し、中城村は生涯学習フェスティバルを実施するように取り組んで行く。	目標		目標	